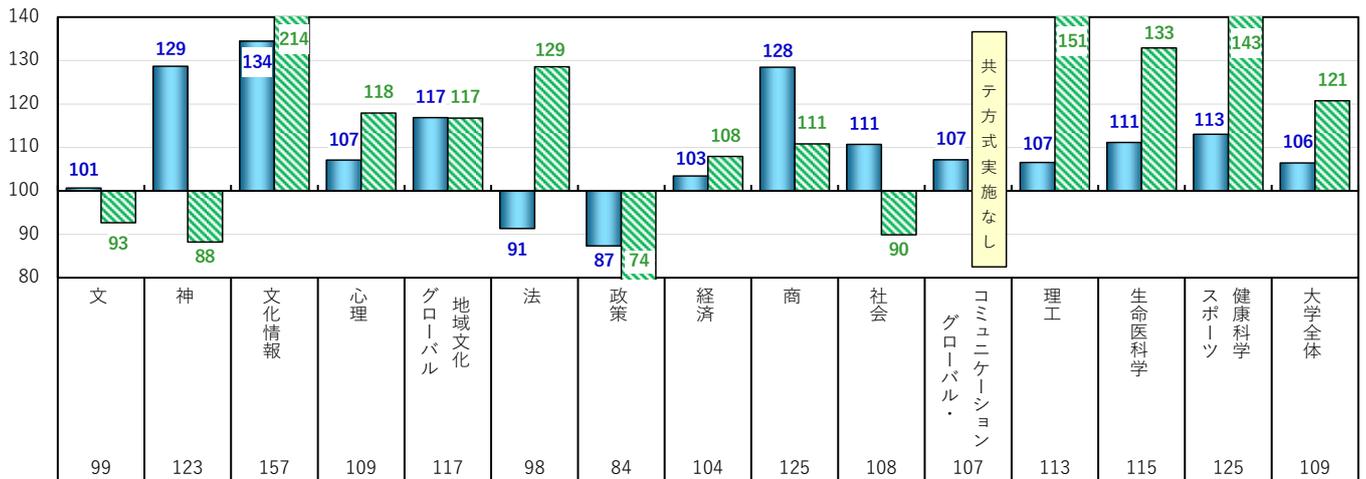


同志社大：大学全体で2年連続増加、14 学部中 11 学部で増加

一般：+2,431 人 共テ：+1,687 人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■ 一般方式 ■ 共テ利用方式



主な入試変更点

学費改定：(1 年次入学金含む、諸会費除く)

文、神、グローバル地域文化、法、政策、経済、商、社会

1 年次：1,219,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,195,000 円、4 年間総額：4,414,000 円
→ 1 年次：1,115,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,345,000 円、4 年間総額：4,460,000 円

文化情報

1 年次：1,315,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,541,000 円、4 年間総額：4,856,000 円
→ 1 年次：1,237,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,711,000 円、4 年間総額：4,948,000 円

心理

1 年次：1,366,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,760,000 円、4 年間総額：5,126,000 円
→ 1 年次：1,295,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,885,000 円、4 年間総額：5,180,000 円

グローバル・コミュニケーション

1 年次：1,341,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,585,000 円、4 年間総額：4,926,000 円
→ 1 年次：1,245,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,735,000 円 4 年間総額：4,980,000 円

理工(数理システム)

1 年次：1,676,000 円、2 年次以降 4 年次まで：4,730,000 円、4 年間総額：6,406,000 円
→ 1 年次：1,618,000 円、2 年次以降 4 年次まで：4,854,000 円、4 年間総額：6,472,000 円

理工(数理システム除く)、生命医科学

1 年次：1,734,000 円、2 年次以降 4 年次まで：4,979,000 円、4 年間総額：6,713,000 円
→ 1 年次：1,695,000 円、2 年次以降 4 年次まで：5,085,000 円、4 年間総額：6,780,000 円

スポーツ健康科学

1 年次：1,335,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,691,000 円、4 年間総額：5,026,000 円
→ 1 年次：1,270,000 円、2 年次以降 4 年次まで：3,810,000 円、4 年間総額：5,080,000 円

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、共通テストの難易変化への不安もあって難関国立大志願者から併願先として狙われた結果、4,118 人(109)の増加で2年連続増加。学費改定(4 年間総額では値上げ)の影響はなかった。方式別では、一般方式(106)は2年連続やや増加、共通テスト利用方式(121)は大幅増加だが志願者数1 万人には届かなかった。学部別では、14 学部中 11 学部で増加。特に、文化情報(157)、商(125)、スポーツ健康科学(125)、神(123)、グローバル地域文化(117)、生命医科学(115)はいずれも大幅増加、理工(113)、心理(109)、社会(108)は増加。一方で、政策(84)は大幅減少。

<一般方式>

- 文(101)は、前年度並。学科別では、(文化史)(129)は大幅増加で志願者数は5年ぶりに1,000 人を上回った。(英文)(105)はやや増加で2年連続増加。一方で、(国文)(74)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(哲)(95)、(美学芸術)(95)はいずれも前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 文化情報(134)は、大幅増加で5年ぶりに増加。方式別では、<学部理系>(138)、<全学文系>(135)、<学部文系>(135)、<全学理系>(127)と全方式で大幅増加。
- 心理(107)は、やや増加で5年ぶりに増加。方式別では、<全学理系>(126)は大幅増加、<学部個別>(106)、<全学文系>(105)はいずれもやや増加。
- グローバル地域文化(117)は、コロナ禍の影響による系統への低い人気から2年連続減少した反動で大幅増加。コース別では、(グローバル地域文化/ヨーロッパ)(136)、(グローバル地域文化/アジア・太平洋)(122)はいずれも大幅増加。一方で、(グローバル地域文化/アメリカ)(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(91)は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、2 学科でとも減少で、(法律)(91)は前年度大幅増加の反動で減少、(政治)(91)は2年連続増加の反動で減少。
- 政策(87)は、減少で3年連続減少。
- 経済(103)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、<全学文系>(107)はやや増加で志願者数は4年ぶりに2,000 人を上回

った。<学部個別>(101)は微増だが2年連続増加。

- 商(128)**は、前年度減少に反動で大幅増加。コース別では、(商/フレックス複合)(180)は5年連続減少の反動で激増、(商/商学総合)(122)は前年度減少の反動で大幅増加。
- 社会(111)**は、2年連続増加。学科別では、(産業関係)(140)、(教育文化)(132)はいずれも大幅増加で2年連続増加、(社会)(126)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(社会福祉)(63)は前年度70%以上の激増の反動で大幅減少。
- グローバル・コミュニケーション(107)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気から2年連続減少した反動は小さくやや増加に留まった。コース別では、(グローバル・コミュニケーション/中国語)(153)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(グローバル・コミュニケーション/英語)(96)はやや減少で5年連続減少。
- 理工(107)**は、2年連続やや増加。学科別では、(電子工)(122)、(機械理工)(119)はいずれも大幅増加、(機能分子・生命化)(114)、(機械システム工)(113)、(情報システムデザイン)(110)はいずれも増加。一方で、(インテリジェント情報工)(88)は減少。
- 生命医科学(111)**は、3年連続減少の反動で増加。学科別では、(医生命システム)(122)は2年連続減少の反動で大幅増加、(医情報)(118)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(医工)(94)はやや減少で2年連続減少。
- スポーツ健康科学(113)**は、2年連続増加。方式別では、<学部文系>(100)の志願者数が前年度と同数だったのを除き、他の3方式はいずれも増加。特に、<学部理系>(145)、<全学理系>はいずれも大幅増加。

<共通テスト利用方式>

- 文(93)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科別では、5学科中増加したのは(文化史)(110)1学科のみで2年連続増加。一方で、(哲)(74)、(国文)(83)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 文化情報(214)**は、2年連続大幅減少の反動で2倍以上の激増。
- 心理(118)**は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- グローバル地域文化(117)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気から3年連続減少した反動で大幅増加。コース別では、(グローバル地域文化/ヨーロッパ)(138)は3年連続減少の反動で大幅増加、(グローバル地域文化/アメリカ)(118)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(グローバル地域文化/アジア・太平洋)(93)はやや減少で2年連続減少。
- 法(129)**は、2年連続大幅増加。学科別では、2学科でとも大幅増加で、(政治)(178)は大幅増加で2年連続増加、(法律)(120)は2年連続大幅増加で志願者数は4年ぶりに1,000人を上回った。
- 政策(74)**は、大幅減少で志願者数は6年ぶりに400人を下回った。
- 経済(108)**は、3年連続増加。
- 商(111)**は、2年連続増加。
- 社会(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、大幅な増減に分かれた。(産業関係)(343)は3年連続大幅減少の反動で3倍以上の激増となり志願者数が3年ぶりに20人を上回った。(社会)(222)は2年連続大幅減少の反動で倍増以上、(メディア)(119)は3年連続減少の反動で大幅増加だが、志願者数は4年連続30人台。一方で、(教育文化)(47)は前年度倍増以上の反動で半減以下、(社会福祉)(85)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理工(151)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、10学科全てが増加で、7学科が大幅増加。特に(電子工)(255)は2.5倍以上の激増で6年ぶりに増加。(機械システム工)(177)、(機械理工)(175)、(機能分子・生命化)(172)、(情報システムデザイン)(166)、(化学システム創生工)(136)、(環境システム)(115)はいずれも大幅増加。
- 生命医科学(133)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(医生命システム)(155)は3年連続減少の反動で大幅増加、(医工)(150)は4年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(医情報)(90)は前年度の大幅増加の反動で減少し、志願者数も100人を下回った。
- スポーツ健康科学(143)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。